



「今年、ここを職場として選んでくれた皆さんへ」

社会福祉法人子供の町 理事長 田中 文男

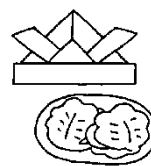
ずっとずっと昔の話です。壺井栄さんの「二十四の瞳」という作品を読んで、ひどく感動したことがありました。作品が映画化されると、感動がもっともっと深まって、将来は「教師になろう」と思いました。自分の教え子をあんなにも深く愛し、子供達からは親以上に慕われる教師。映画の中で流れていた「七つの子」という歌を聞くと、今でも思わず涙してしまうことがあります。

専門の教師にはなりませんでしたが、私立高校の山岳部の顧問をしていた関係で、今でも当時の少年が訪ねてくれることがあります。家族のこと職場のこと、そして当時のやんちゃなことをしみじみ話して別れの時「先生、今度おいしい物食べに行きましょう」と誘ってくれます。「僕がごちそうするよ。まだ経営者だよ。」と言うと、「僕だって部長です！」と胸をたたきます。「それはいい。近いうちに予定も立てるよ。」と別れますが、私が多忙なためか、どの子もまだごちそうをしてくれませぬ。

私達の三つの施設では幼児から高校生まで大勢の子供達が生活しています。卒園していった子がたまに訪ねてくることがあります。定年間近の指導員と当時のことを懐かしそうに話して帰って行きます。時には生活に疲れ、泣きを入れてくる子もいます。「困ったことがあったら相談にお出で！」といつも言っている私です。指導員や保育士たちがじっくりと耳を傾けてくれています。

人生は様々です。たぶん、苦しいことの方が多いでしょう。そのためには「ここで生活できて良かった！」と子供達に言ってもらえると同時に、「ここで働けて良かった」と言える職場であるように、私は努力したいと思います。

創刊： 昭和24年11月
発刊： 社会福祉法人 子供の町
児童養護施設 子供の町
児童養護施設 エンジェルホーム
地域小規模養護施設 菜の花
住所： 〒344-0112
埼玉県春日部市西金野井337
TEL: 048-746-0206
FAX: 048-746-9215
HP: <https://kodomonomachi.jp/>



今年入られた大勢の職員の皆さん、一緒に笑い、泣き、時には悩みましょう。

問題は一人では解決できない。そのために先輩がいます。どうぞ宜しく。



特別な支援とは・・・

子供の町施設長 根岸 昇

「青葉若葉の美しさ 筑波の遠くかすむ丘 希望に燃ゆる子どもら 集うところよ子供の町」 園内は新緑がまぶしい季節を迎えています。平成29年度がスタートして早くも1ヶ月が過ぎて、新小1年10名・新中1年10名・新高1年6名(全日制4・通信制1・特別支援1)も緊張がほぐれる頃です。

さて、お気づきの方もおいでかと思いますが、4月の朝日新聞紙面には「障害をもった子どもたち」「特別支援学級・学校」に関する記事がとても多く掲載されていました。比較的障害の軽い子どもが通う小中学校の特別支援学級の在籍者は平成27年20万1千名で10年間で2倍に増加。背景には診断の普及と支援が得やすい教育を望む保護者が増加したことがあると指摘されています。また支援学校の教室不足が全国で3,400教室、①神奈川県256室②東京都245室③埼玉県232教室という深刻な状況のようです。

実は子供の町・エンジェルホームにおける小中高の特別支援学級・学校在籍率は、数年来30%超であり、本年4月1日時点では小中高在籍者数110名のうち33名が特別支援学級・支援学校に在籍しており30%です。軽度の知的障害・発達障害、愛着障害など。

先日、近くのブルーベリー農園に剪定した枝木の片づけのお

手伝いに行き来しました。毎年夏祭りの時に美味しいブルーベリー生ジュースをふるまってくださる農園主からの依頼があり、支援学級・支援学校在籍の小中高3名と一緒にきました。今の時期は釣鐘状の白や薄ピンク色の可憐な花がたくさん鈴なりに咲いています。背丈ほどの成木を剪定した枝を集めて畑の端に山積みする作業ですが、30分ほどすると小5T君は飽きてしまい、ウロウロし始めました。「だってチクチクするんだもん！」確かに、ハーフパンツなので雑草に触れてチクチクするのがわかります。「そうだね、長ズボンをはいてくれば良かったね」と私。でも支援学校中等部のM君は、しっかり長ズボンを着用していました。1時半程の作業を終えて帰る際に、高等部のS君が「(農園主の) Iさんに挨拶していかないかね」と一言。隣の畑で草刈りをしていたIさんにしっかり挨拶してから帰路につき、近くのコンビニでアイスを買って車内で食べました。なかなか買いたいアイスが決められなかったM君ですが、自分のアイスを一ツT君(弟)にあげていました。5月連休の話題になり、S君が「俺、帰省するよ。お母さんの誕生日だから小遣いでピアスを買ったんだ。お母さんの好きな紫色の・・・」彼らの優しさはどのように育まれたのでしょうか。幼児期から大きな集団の中で生きてきた彼らは、決して他人の優しさばかりに接して生きてきたわけではないと推察します。もしかしたら「嫌な思い」や「生きづらさ」の方が多かったことでしょうか。「特別支援学級・学校」に在籍している彼らの「人間としての優しさは」「丁寧なかかわり」によって育まれたのではないのでしょうか。その主な担い手は職員たちです。改正児童福祉法において、子どもの権利条約の精神に則った養育が条文化されました。施設で暮らすことも障害を有することも自分の意思と無関係に余儀なくされた子どもたち。彼らの声に耳を傾け「集い・憩う・学ぶところよ 子供の町」の実現に微力を尽くしたい。

「失敗は誰にでもあるよ」

エンジェルホーム施設長 高橋育弘

今年度よりエンジェルホームの施設長に就任しました。微力ながら施設長として施設基盤の強化を図るとともに福祉サービスの質の向上に努めていきたいです。また、地域福祉の拠点としての役割を担えるように地域との関係を構築できるような活動を積極的にしていきたいと考えております。

私自身のこととなりますが、施設長に就任するまでは、児童寮で9年間勤務したのち、里親支援専門相談員として2年間(うち1年間は副施設長兼務)活動してきました。この11年間、変わらない大切にしている信念があります。私が新任職員であった時に「子供の町だより」で「働き始めて半年」という題で原稿を書いたのを思い出し、読み返してみました。新任職員時の苦労も思い出しながら、読み返してみると、文末に「子どもたちと一緒に成長し続けていきたい」と書かれてありました。この信念は

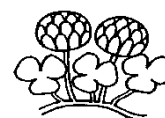
今でも全く変わっていません。児童養護施設の職員は子どもたちの成長を支援する立場であります。支援をする立場である職員自身がいまはモデルとして成長する姿を子どもたちに見せるべきではないかという信念のもとに11年間、子どもたちと一緒に成長してきたつもりです。

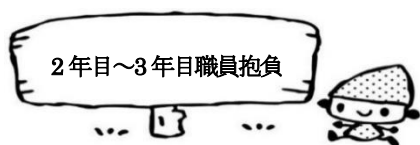
では、成長するためには何が必要なのか…。私は「失敗体験」と「成功体験」そして「信頼できる人の存在」から成長してきたように思います。完璧な人間はいない、人は必ず失敗をするということの大前提に、私は子どもたちにもあえて失敗を隠さずに見せたり、失敗体験を話したりしてきました。失敗するということは自分自身、傷つくことでもありますが、同時に自分自身の課題を知ることでもあります。自分自身の課題を知ることとは、当然苦しむことも沢山あります。大人になると自分の課題には目を向けたくなくなってきました。自分はこの限界であると諦めて逃げることは簡単なことです。しかし、児童養護施設の職員としてこの仕事を選んだ以上は、子どもたちに失敗から逃げる姿を見せたくはなかったのです。私は、自分はもう成長しないと限界を定めた時は、児童養護施設の仕事から退く時であると決めています。失敗体験は辛いものですが、そのような時は、周りの職員や信頼できる人に相談すると自らの経験からアドバイスをしてくれます。そして成功するためのプロセスを必死に考えながら、成功体験を積み重ねることで、成長していくのであると思います。

このことは子どもの成長にも当然同じことが言えます。失敗することは子どもの権利であると思います。子どもにとっても失敗することは成長のために必要なことなのです。一人で乗り越えることが難しい場合、職員は子ども自身が自らの課題に気付けるように寄り添いながら、成功するためのプロセスと一緒に考える。そして、失敗を成功体験として積み重ねることで「やればできる」という自己肯定感が育ちます。このような当たり前の体験が日々の生活を通して沢山できることが自立にとって大切なことなのです。

私が児童寮の主任をしていた時、子どもたちが失敗するたびに、次は成功するためにどうしたら良いのか、そのプロセスを何度も何度も一緒に考えて実践してきました。正直、このまま一生伝わらないのではと諦めたくなる出来事も沢山ありましたが、根気強く諦めずに子どもの成長を信じる中で、子どもたちは少しずつ成長していきました。子どもたちの成長が少しずつ感じられるようになったある日、次は私が失敗する番になったのです。当時小学5年生のRくんがふと私に言ってくれた次の一言が、私の心をじわじわと温かくしてくれたのを思い出します。

「失敗は誰にでもあるよ」と。そんな素敵なセリフを職員も子どもたちも言い合えて、そして共に成長し合えるような、そんな雰囲気施設を作っていきたいです。





エンジェルホーム

5A寮 船越 彩華

昨年度から子供の町で働き始め、無事2年目の春を迎えることができました。園長を始め、お世話になった先輩職員の皆様、支えてくれた同期の皆には深く感謝しております。1年目で戸惑うことも多くありましたが、そんな私が日々楽しく前向きに生活できたのは、子ども達のお陰です。共に笑い、時には一緒に涙を流し、とても濃く、心に残る日々を過ごさせていただきました。

同時に、自分の無力さを感じることも多くありました。しかし、立ち止まるわけにはいきません。2年目は昨年の自分を越えられるよう更に成長していきたいと思っています。私の原動力である子どもの笑顔を大切に、絶える事の無いよう共に生活していきたいです。2年目として沢山のことを経験し、成長できるような日々努力していきたいです。

エンジェルホーム

9寮 加藤 あき枝

子供の町の職員として働き始めて、2年が経ちました。子ども達と共に喜び、時には厳しく、日々の対応をしていると、あつという間に一日が終わっていきます。子どもへの支援の仕方や関わり方について、苦悩する日もありました。子ども一人一人に合った支援ができていいのか、求めているレベルが高すぎるのではないかと考える時もありました。しかし、子どもが一所懸命、物事に取り組む姿や少しずつ成長していく様子が感じられた時、とても誇らしく思うと同時に喜びも感じられる瞬間です。

この二年間で、子ども達の日々の対応の他にも、様々な経験ができて勉強になりました。今まで学んできたことを活かして、子どもと関わりや、より良い支援が出来るようになりたいです。そして、一緒に協力して子どもの対応や支援をしてくださる寮の職員の方々や、周りで支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいです。

「二年目としての姿勢」

子供の町

さくら 竹山 洋祐

今年度で二年目になる私にとってどのような姿勢で仕事に取り組んでいくのかが、今後どのように成長していくかが、変化するのだと思う。初年度ではまるでわからない事だらけではあったが、周りの方々の手厚いサポートによってなんとか日々を過ごす事が出来ていた。しかし、二年目になると業務としても少しずつ任される事や、子ども達からも頼られる事も増えてくる。また、一年目の後輩達が入ることで指導する場面もある。このように年数を重ねる事で責任も重くなっていくのだと感じる。その中で私は何を基盤に日々を過ごしていくのかと考えた時、目の

前の仕事や問題に対して一つずつ取り組んでいき、さらにその一歩先を考えて取り組もうと考えている。ある程度予測をした上で取り組むことでより柔軟に考えられるようになるのではないかなと思うからである。日々を全力で向かっていきたい。

「三年目職員として」

エンジェルホーム

5B寮 工藤 彰人

三年目の職員となり、私は今まで以上に子どもと向き合う時間を増やしていきたいと考えています。現在を含め、色々な仕事に追われる中で、子どもとの会話や関わりをおざなりにすることが、前にも増して多くなっているように感じていました。仕事だから、と自分で言い訳をして適当にあしらってしまうこともあり、帰宅してから思い返すと、子どもに寂しい思いをさせてしまったのではないかと反省する日が何度もありました。子ども達の置かれている状況、背景をもう一度振り返り、入職した時の子どもへの気持ちを思いだし、新たなスタートのつもりで新年度を過ごしたいと思います。環境も変わり自分の中に動揺の気持ちもありますが、揺るがない精神を持てるよう、今一度自分を引き締めたいと思います。子ども達と共に人間として大きく成長できる一年を目指します。

「二年目になって」

子供の町

ゆり 田中 友理奈

私が杏寮に配属になり、1年の月日が経ちました。目まぐるしい毎日で、忙しくも楽しい一年だった印象です。

そして二年目になる今、ふと思うことがあります。最近の私は、注意してばかりなのではないだろうか、ということについてです。子ども達と多くの時間を過ごし、深く関わりたいと望んで子供の町の職員になったのに、こうるさい人間になってしまったと反省している所存です。

しかし、このように気持ちを改める事が出来たことで、今後の自分を良い方向に変えられたらと思います。

二年目になり、日々の家事業務や子どもへの声かけなど一年目に比べ出来るようになったこともありますが、出来ていないところも多くある為、他の職員方と支え合い子ども達と今後も成長していきたいと思っています。

「三年目の抱負」

子供の町

3寮 石原 知春

早いもので短大を卒業して子供の町に就職して三年目に入りました。一年があつという間に過ぎていきます。

三年目になり、環境にも慣れ毎日子ども達と楽しく過ごしています。二年目までは先輩職員に指示を貰って行動する事が殆

どで、子ども達と接する時も不安でいっぱいでした。ですが三年目に入り、ずっと頼りにしていた先輩職員が他寮に異動になってしまいこれからはもっと積極的に行動し自信を持って子ども達と接していかななくてはいけないと思いました。

まだ、できるようになった事は少ないですが、子ども達と一緒に試行錯誤しながら子ども達にとって良い環境の中で過ごしていけるように頑張っていきたいです。

「二年目を迎えて」

エンジェルホーム
6寮 靄島 直人

子供の町で職員として働き始めてから、一年が経過しました。初めは何も分からず、掃除や洗濯等仕事として行う全てのこと新鮮で戸惑いもありました。数ヶ月もするとその作業にも慣れ、一日が経つのがとても早く感じられました。二年目の職員として、日々に流されることなく、一年目と変わらない仕事を一年目では出来なかった仕事、気づくことが出来なかった仕事をしていきたいと思ひます。

また、二年目からは、自分の寮の中での役割を意識して子ども達と関わっていきたいと思ひます。昨年とは寮内の体制も変わったため、また新しい気持ちで仕事していけることと思ひます。いつまでも新鮮な気持ちを忘れないで、初志貫徹の精神でこの二年目も仕事に励んでいきたいと思ひます。

「二年間を振り返って」

子供の町
すいせん 中川 亮

今年度で、子供の町に就職をして三年目になりました。一、二年目の初めまでは、慣れない家事や、子ども達との関係が上手くいかず、帰宅すると何もする気が湧かず、直ぐに寝てしまうという状態でした。二年目後半になると少しずつですが、余裕が出てくるようになったものの、他の職員さんに助けて貰いながらという状態でした。

二年間を振り返ってみると、自分に余裕がないということを使い訳に、子ども達と関わったり、遊んだりということがあまりできていませんでした。

そこで、今年度からは、色々な所へ連れて行って、一緒に遊んだり、色々なことを経験させたりと、関わる時間を大切にしていきたいと思ひます。



「今後への思い」

子供の町
心理士 薊 奈保子

子供の町で働き2年が経ちましたが、働けば働くほど、児童養護施設の周知度の低さを痛感しています。“児童養護施設の心理士”と伝えても、具体的な業務のイメージが浮かばない人もいれば、どのような施設なのかさえ曖昧な人もいました。

私自身も、児童養護施設をよく知っていたわけではありません。そのため働いてみて初めて知ることが多く、同時に、知れば知る程やりがいや楽しさも増えました。自分の知らないことに意識や理解を向けることはなかなか難しいでしょう。周囲の人に児童養護施設や入所児童について理解や協力を得るためには、まずは知ってもらうことから始めなければならないと思ひます。

そのため私は、心理士からみた施設や子どもについての情報を積極的に外部に向けて発信していくことを心掛けたいです。種が長い時間をかけて芽吹くように、時間はかかるかもしれませんが、いずれは子どもにとって世の中がより生きやすいものになればと思ひます。

「里親支援に携わって」

エンジェルホーム
里親支援専門相談員 堀江 豊子

里親支援専門相談員が施設に配置されて5年目を迎えます。私は、里親支援専門相談員になって2年目を迎えます。最初の里親支援の関わりは、幼児5歳女児のケースでした。一度里親さんとのマッチングで交流を重ねていったのですが、数回で駄目になりました。年齢的にも難しい為、諦めていたところファミリーホームへの措置変更の話があり、交流を重ねていくことになりました。前回失敗に終わっているため慎重に進めていかなければと思ひ、一緒にファミリーホームへ遊びに行かせていただき慣れたところで、数時間預けて又一緒に施設に戻るということを繰り返し行いました。その繰り返しで大きな不安もなく措置変更となりました。時々児の様子伺いにファミリーホームへお邪魔させて頂いています。大きな施設とは違い家庭的な生活をさせて頂いているため、伸び伸びと色々な事にチャレンジさせて貰い元気に過ごす姿を見て安心しています。

今年は、1年生の女児の里親委託に支援をしている最中です。里親ご夫妻の気持ちと児の気持ちとが重なるまで丁寧に慎重に関わって支援をしていきたいと思ひています。

その他に、里親研修会・ふれあい交流事業の受入れ・里親サロン・アフターケアの相談など取り組んでいます。社会的養護を担う里親さんとこれからも子育ての悩みなど一緒に向き合い寄り添えるような支援をしていけたらと思ひています



★各施設の里親支援専門相談員が集まり情報を共有できるように、【手をつないで】が発行されています。是非読んでみてください。



「1年生になって」

エンジェルホーム

9寮 WO

いちねんせいになってがっこうに行くときに、ランドセルをせおい、みんなといっしょにあるいていくことがたのしいです。べんきょうはむずかしいけどたのしいです。きゅうしょくではすきなたべものがまいにちでうれしいです。やすみじかんはそとにでておともだちとてつぼうをしてあそんでいます。あさ、がっこうに行くとおともだちや、やさしいせんせいにあえて、あいさつとか、たのしいおはなしができるのでうれしいです。

べんきょうをたくさんして、きれいにじをかいたり、かんじがよめるようにしたいです。

きらいなたべものがでたとしてもいっばいたべておおきくなりたいです。

さいごにいちばんがんばりたいことは、おともだちと、まいにちたのしくすごしたいです。

エンジェルホーム

5A寮 HA

いちねんせいになって、おべんきょうをがんばりたいです。おんどくやさんすうのおべんきょうをがんばりたいです。おべんきょうはたのしいです。あと、せんせいとかおともだちといっばいおはなしをしたいです。きょうだいともなかよくあそんだり、けんかをしないでにこにこしてあそびたいです。はっぴょうかいやうんどうかいもがんばります。みにきてね。みんなといっしょにたのしくします。にがてなたべものもたべられるようになります。

エンジェルホーム

5B寮 TN

わたしは、いちねんせいになってとてもうれしいです。いちねんせいになってたのしいことは、おべんきょうとぼんぼこやまであそぶことです。いちばんすきなおべんきょうは、さんすうです。かんたんだからすきです。しらないすうじをかくのは、むずかしいです。「わ」「を」「ん」の「を」をかくのもむずかしいです。

これからがんばりたいことは、かんじをかくことです。じぶんのなまえをかんじでかけるようになりたいです。

子供の町

わかば ED

べんきょうとかはたいへんだけれど、やすみじかんはたのしいです。

きゅうしょくのパンはちぎってたべないといけないのがたいへんです。

子供の町

すいせん ON

おそとがたのしいです。ぶらんこもたのしいです。すべりたいもたのしいです。

しょしゃをがんばりたいです。



「中学1年生になって」

エンジェルホーム

5A寮 AM

中学1年生になって新しい学校生活が始まりました。本格的な授業も始まって慣れたことが多いと思いました。でもまだ慣れていない事が沢山あって分からないときもあるけど、先輩に聞いたり友達と協力したりしたいです。

私は特に数学と英語を頑張りたいです。二つとも私の苦手な教科なので予習・復習を頑張りたいです。逆に私が得意な科目は「美術」です。絵を描くのが大好きなので、この事を活かして美術「5」をとりたいです。部活はバスケット部に入る予定です。大変だと思うけど頑張りたいです。

エンジェルホーム

5B寮 WA

私が中学1年生になって思ったことは、三つあります。

一つ目は小学校の時と違って教科が増えた事です。だから全部の教科を頑張りたいです。

二つ目は部活が始まったことです。小学校ではクラブと委員会だったけど、部活になりました。部活は朝練もあって運動部だったら他の学校と試合があります。私は、美術部に入りました。少し不安なこともあるけど頑張ります。

三つ目は、小学校では私服、ランドセルだったけれど、制服にバックになりました。初めて着たときはすっごく重く感じました。でも今では少し慣れました。バックは今でも重いです。この中学校三年間は損の無いような三年間にしたいです。

子供の町

さくら TI

私は、中学校でどんな所やこれからどんなお友達が出来んだろうと楽しみにしていました。それで、私の好きな教科は、美術です。小さい頃から好きだったので、とても嬉しいです。

私は、美術部に入部しました。対面式に先輩方の絵を見てすごいと思いました。

私は嫌いな教科もあるので、10位内に入りたいと思っているので、勉強もかかさず、頑張りたいです。そして、体育祭も頑張りたいです。



「小学校と中学校の違い」

子供の町

さくら TM

中学校になると教科が変わります。中学校では、運動会ではなく、体育祭になって、文化祭がなく合唱祭になります。小学校では、朝トレがありましたが、中学校になると朝トレはありませんが、集団掃除がありとても疲れます。でも皆と協力して頑張っているの、私も頑張ろうと思います。

部活動は美術部で沢山の絵を描いています。私ももっと上手になれるように顧問の先生や周りの友達に聞いて少しずつ絵を上手になれるように少しずつ、少しずつ頑張りたいです。

入学して約一ヶ月経ちましたが、先輩にはなれないけど、来年は妹が来るため、先輩らしくお手本になれるように頑張りたいです。

大人の人は色々な場所に行かせてくれるため、月から金曜日まで頑張ろうと思います。多分大人は私が学校に行っているとき心の中で「頑張って」と言っているんじゃないのかなと思います。勉強は辛いけど、辛いからこそ「やらなきゃ」と思います。先生や大人の人でも勉強や色々な事を教えてくれます。そういう先生や大人が大好きです。優しい大人、優しい先生、優しい皆、優しい家族色々な所に「優しい」「ありがとう」「皆の褒め言葉」「大好き」「嬉しい」「くやしい」色々な言葉があつて私は理解や納得をしていきます。これからも褒め言葉をなるべく5回は、言えるようにしたいです。私は小さい子になるべく言いたいです。



「高校1年生になって」

エンジェルホーム

5B寮 FA

私は、過年度受験で不安が多い中、生活の場も変わり大変でしたが、5B寮の子達が「今は〇〇の時間だよ」と声を掛けてくれ

るので、生活リズムが分かるのに時間はかかりませんでした。

学校では、一人一人時間が違うので、友達は作れないだろうと思っていましたが、色々な子が声を掛けてくれたので、友達ができました。学校の授業は皆殆ど喋らずに受けているので、集中しやすいです。

私は、「看護師」になるのが夢なので、進学を目指しているの、勉強を聞いたりするかと思うので、教えてもらえると有り難いです。

エンジェルホーム

5B寮 KM

私は高校生になって頑張りたい事が三つあります。

一つは、勉強です。今回の課題考査では、数学と英語と国語がありました。テストの点数は全て赤点がありませんでした。このままこの調子で、一つも赤点を取らずに少しでも良い成績でいられるようにしたいです。

二つ目は、部活です。私は中学の時と同じ演劇部に所属しました。中学の時とは違い高校では本格的に活動をしているので、意外にハードだけど、先輩方は皆優しく楽しい部活だと思っています。いつか自分も主役をやってみたいなと思います。

三つ目は、とにかく高校生活を ENJOY したいです。今年は今までとは違い、友達関係が上手くいったり、クラスの中心になったり、前までの自分と比べて明るく、良い意味で変わったと思います。三年間頑張ります！！

エンジェルホーム

6寮 TS

僕は高校に入学して思うことは、中学生の時と比べて早起きして通学しなければならぬので少し大変です。それは、電車と自転車で通学しているからです。

部活は、吹奏楽部に入りました。楽器はフルートで活動はとても楽しいです。これから色々なことを頑張りたいです。

エンジェルホーム

6寮 MS

僕は高校生になって、頑張りたい事があります。中学生ではサッカー部に入っていたけど、新しい事にチャレンジしたいと思いバレー部に入りました。それに将来保育士になりたいので、勉強をいっぱい頑張っていきたいです。高校生は上級生なので寮の皆の中心となって小さい子の面倒を見ていきたいです。

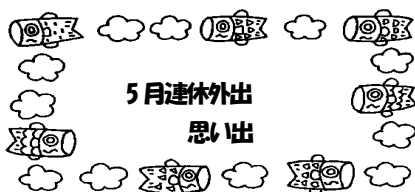
「高校生となり次なる目標」

子供の町
3寮 TK

僕は自分で初めての難問に出会いました。それは受験です。それを越え、受かりそして今に至ります。高校に入学少し話せる友達もできています。僕の高校は普通の高校とは違い農業高校です。これを聞いて僕のやりたいことがわかりますか？

そうです。農業について学ぶことです。ちなみに僕が入った学科造園科は、庭に繋がることをやったり、森の中で木を切る間伐をやったり思った通り皆、木を切ることが大好きでした。

でも自分は、庭師を志望するので、測量や造園計画の方を重視したいです。



「みんなでガーデニング」

子供の町
さくら 高3 F. M

今年のゴールデンウィークに寮の皆で、ガーデニングをしました。ビバホームに行って花、鉢、土、軽石を買いました。買った花の種類は、ミリオンベル・アメリカンマリーゴールド・アゲラタムブルーハワイ・レースラヴェンダー・ロベリアリビエラ・メランポジウムミリオンゴールドです。

花を植えることは、学校でもやっていたので、皆に一から教えるながらやりました。まず、最初に軽石を並べ、土を少し入れ、花を入れ替え土を足して行って水をたっぷり入れて、寮の階段に飾りました。



「大凧祭りの思い出」

子供の町
ひまわり 小6 E. R

私は大凧祭りに行き、思い出になったことが沢山あります。その中でも心に残ったことが沢山あります。その中でも心に残った事が三つあります。

一つ目は、屋台です。屋台では、色々な食べ物がありました。どれも美味しかったです。一番美味しいのは、電球ソーダーでした。その電球ソーダーは、入れ物が電球(ニセモノ)で、ソーダーが入っている飲み物です。

二つ目は、芝すべりです。土手で小さいこと一緒に滑りました。楽しかったです。

三つ目は、凧あげです。凧あげでは、小凧と大凧が両方とも上

がりました。いつか私もあげてみたいです。

最後に、大凧祭りを振り返って、とてもあつかったけれど、とても楽しかったです。また、ひまわり寮のみんな揃って行きたいです。

「サイクリング」

エンジェルホーム
6寮・小3 II

ぼくは、サイクリングで、いっぱい自転車をこぎました。最初は大丈夫だったけど、最後に筋肉痛になったので、あんまりこげなかったけど、がんばってこぎました。ちょっと死にそうになりましたけど、頑張っただけで楽しかったです。また行きたいです。すごく頑張りました。面白かったです。

「アグリパーク」

エンジェルホーム
6寮 小1 N.K

トランポリンや滑り台がありました。もっと遊びたいです。お昼も食べました。

「私の五連休」

エンジェルホーム
5A寮 中3 AN

私の五連休は、五日間全部部活でした。

五日間とも一日試合だったので、とても疲れました。でも、その試合に来たチームは、ほとんど県大会で上位だったり、関東大会に出場している強いチームが多かったので、とても勉強になりました。

たとえば、スピードのあるチームには、速く戻らないといけなし、背の大きいチームには、リバウンドをとらせないように工夫しないといけないなどで、いい経験をしたと思います。

そして、この五日間は、自分のことも知れたと思います。このくらいで疲れちゃうとか、結構ファールが多かったとか、疲れているときも、もっと頑張れるんだな、など色々発見した点が多かったです。

この五日間は、皆出かけるのに一人だけ部活だとマイナスになるときもあったけども、連休中に先生が言ってくれたバスケットをやらせてくれている立場なので、ここはとてもいい連休、成長した連休でした。



「思い出のイオン」

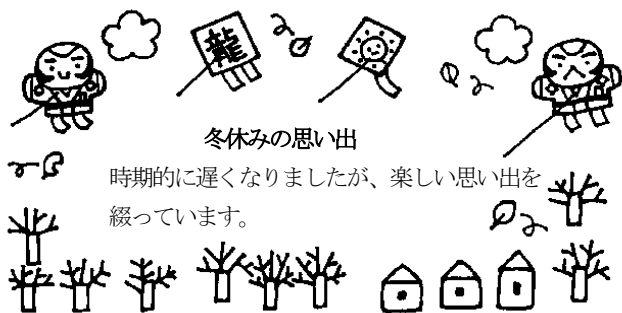
エンジェルホーム
5B寮 小5 KM

私は、5月4日にイオンに行きました。イオンは、私の思い出のイオンです。その理由は、私が2年生の時、あまり帰省や面会が無かったので、真壁さんが「一緒にイオンへ行こう」といってくれました。その時は、嬉しくてたまんなかったのを今でも覚えていています。そしてあれから2年経ち又イオンへ行けて嬉しいです。2年前と同じ真壁さんと一緒に行きました。「ここたま」の映画を見たり、ペットショップに行ったり、チョコアイスを食べたり、買い物をしてとても楽しかったです。またイオンへ行きたいです。

「お姉ちゃん家に行って心に残った事」

子供の町
ゆり 小6 O.E

私は、GWでお姉ちゃんの家泊まりました。私はお姉ちゃんの家泊まっても、赤ちゃんの面倒を見たり、お手伝いをしました。GWだったので、おおきな鯉のぼりを見に行こうとなりました。でも、大きな鯉のぼりが、空に泳いでいる日が過ぎてしまったので、むさしの村に行きました。むさしの村では、たくさんの乗り物があったり、大きなホールがあって、私は空中ブランコと、コーヒーカップにお姉ちゃんと乗りました。空中ブランコは、急に上がって回って楽しかったし、コーヒーカップも目が回るほど回って、楽しかったです。帰るとき一番上のお姉ちゃんの家に行きました。その時一番上のお姉ちゃんから「また、赤ちゃんがいるかも」と言われたので私はびっくりしました。今度行くときは、またどこかへ遊びに行きたいです。



冬休みの思い出

時期的に遅くなりましたが、楽しい思い出を綴っています。

子供の町
杏寮 O.E

私の冬休みは大変だったけど、楽しく過ごせました。なぜ大変だったかということ、甥っ子、姪っ子がいたからです。でも、抱っこをしたり、オムツを取り替えたりして楽しかったです。また、クリスマス会をしたり、鷲宮神社やお婆ちゃん家に行ったり楽しいイベントがたくさんありました。

でも、宿題や家の手伝いも忘れずにやりました。帰ってきてから自由な時間は増えたけど、チビちゃんとかくれんぼをしたり、ブランコをしたり、楽しかったです。時には自主勉強をしたり、部屋の大掃除をしたりしました。今年もやることをやって、楽しいイベントやチビちゃんと遊べる冬休みにしたいです。そして、縄跳びやかかけっことなどの体力作りと手洗いうがいなどで健康に気をつけたいです。

エンジェルホーム
5A寮 M.M

一月一日日曜日に初詣に行きました。毎年初詣には、子供の町の近くにある香取神社に行きます。10人で初詣に行きました。今年は去年よりも早い時間から皆で神社に行ったので神社は少し混雑していました。

私は小学6年生の子と一緒に参りをしました。お参りが終わった後、おみくじを引きました。去年は「大吉」でしたが、今年は「吉」でした。3人くらい大吉を引いていてすごいと思いました。初詣が終わって、コンビニでお菓子とジュースを皆で買って、皆で寮に戻りました。戻ってから皆でテレビを見たり、お昼御飯を食べたり、お菓子を食べてました。今日の初詣は、神社に人が少し多くて大変だったけど、お参りができたり、おみくじが引けたりしたのでとても良かったです。



エンジェルホーム
5B寮 H.M

私は12月25日にクリスマス会をしました。クリスマス会の後にくじ引きを引きました。とても楽しかったです。景品は「イルカ」を貰いました。去年はビンゴをして小さいぬいぐるみを貰いました。去年も今年もとても楽しいクリスマス会でした。初詣にも行きました。私はお願いを神社で願いました。叶えばいいなと思いました。

エンジェルホーム
6寮 H.Y

お正月にラウンドワンに行きました。ローラースケートをやりました。僕は初めてだったので、何回も尻もちをつきました。あまり上手に滑れなかったけど、楽しかったです。また行きたいです。



子供の町

8寮 M.T

僕の冬休みで楽しかったことは、クリスマスと猫カフェに行ったことです。

クリスマス会は、ビンゴをやって沢山のお菓子を貰いました。サンタさんには、恐竜とラジコンを貰いました。

猫カフェは、僕とこうさんとけいちゃんで行きました。猫に餌をあげるのが楽しかったです。あと、イオンでパイブレードを買いました。帰ってきてから、そうたくんと遊びました。

初詣では、佐野厄除け大社に行きました。たくさん人が居て大変でした。「こうさんに赤ちゃんが産まれますように」と「テストで100点取れますように」とお願いしました。

楽しい冬休みでした。

エンジェルホーム

9寮 N.R

楽しかったことは、1月3日にドンキホーテに行ってお年玉で買い物をしたり、お寿司屋さんに行ってお寿司を10皿食べたことです。

頑張ったことは、部活です。僕は男子バスケットボール部です。1月の部活では、5日と6日が2日連続で試合でした。僕は2〜3分しかでられませんでしたが、それでも、その2〜3分の中で一生懸命頑張ったのでこれからも一生懸命頑張っていきたいと思います。そして良いプレーが出来るように頑張りたいです。

特別寄稿



10年ぶりの再会

春日部市立桜川小学校
校長 中島 剛

10年ぶりに桜川小学校に戻るため、南桜井駅を降りると、駅前の様子が一変していました。また小学校まで歩いてくると、駅前通りが整備されており、桜川小学校のシンボルであった桜も、南側の木は、道幅を拡張した歩道の間にありました。学校までの間に驚くことがたくさんありました。しかし、校内を案内されると私の知る桜川小学校と同じで安心しました。校舎も自然の森も以前のまま。校内を歩きながら、いろいろな出来事を思い出していました。

また、新任校長として、地域を巡る中で、子供の町にも挨拶に行きました。子供の町の根岸施設長さん、エンジェルホームの安達施設長さんにお目にかかりました。懐かしい顔を見ることができ、子供の町との連携についても少し安心しました。

新学期が始まり、桜川小学校にも桜つ子の声が響き渡り、学校がいきいきと動き始めました。子ども達も相変わらず元気いっぱい、人懐っこいところも昔と同じでした。

しかし一番驚いたことは、子供の町から登校する子供達が55名だったことです。私が担任をしていた頃は、100名以上の子供の町の児童が在籍し、1クラスに5〜6名の児童がいました。また、なかよし学級(特別支援学級)でも、半数以上が子供の町の児童だった記憶があり、在籍児童数が半分以下になっていることに驚きました。

また、4月の子供の町との連絡会では、指導員の方々がとても若いのに驚きました。以前からの顔見知りの方も数名いましたが、ほとんど初めまして、という感じでした。さらに、新しいユニット寮もできていました。個室のある寮で、今までのイメージとはかけ離れたものでした。連絡会等で話を伺うと、入所してくる子の理由の多くは、虐待であると言いました。そのような中で、より小集団でより家庭的な雰囲気の中で指導支援をする方向ということで、なるほどと思いました。また、子供達ももつづばらしい力を上手に発揮する手立ての一つとして、臨床美術への取組があります。作品展を見に行くと、その子自身がもつ優しさや楽しさ、憧れを感じることができました。

子供の町から登校する子供達は、毎日元気に学校生活を送っています。そして、以前に比べ、かなり落ち着いているように感じました。自分の気持ちを抑えきれず、脱走したり、大声を出したりする子も、ほとんどいなくなりました。人との関わり方が上手にできない子も多く見かけますが、それでも自分を抑えきれなくなる場面が激減したと思います。これも、日頃子供達に接している方々の支援の成果と感じています。

これからも、残念ながら入所してくる子ども達は多くいると思いますが、子供の町と桜川小学校で連携を図りながら、一人一人の成長を見守っていききたいと思います。これからもよろしくをお願いします。

子供の町あれこれ

- ◆今年度から子供の町(定員80名)とエンジェルホーム(65名)2施設合計145名+地域小規模6名=151名となりました。1971年(S46)に2施設250名定員になって以来46年目の今年度、かつてのエンジェルホーム定員100名が事実上廃止なったと同じ定員規模です。かつては常に240名以上在籍し、幼児40名・小学生110名・中学生60名・高校生30名。それでも全員の名前と顔が一致していたものです。
- ◆50年前に保母さんとして勤務していた女性6名が来訪しました。私たちの大先輩ですが、児童養護施設経営法人の理事長・先輩児童指導員夫人・我が娘たちが通った保育園の主任などそ

うそうたるメンバーでした。当時から残っている管理棟の図書で古いアルバムや「子供の町だより」のバックナンバーを見ていただきました。昭和39年11月発行の「だより」に自分の名前を見つけ感激した方もおり、コピーをお渡ししました。

◆定員削減に伴い子供の町は男女定員40名ずつとなりましたが、結果的に連結ユニットに男女8名ずつ入居することになりました。将来に向かっての試みですが、職員3名・パート職員1名配置しても勤務応援が必要だと現場からの要請があります。支援学校高等部の男児に聞いてみると「新しくいい感じ。家みたい。」「(人数が少なく)うるさくなくていい」とのこと。子ども同士の不要なトラブルが少なくなることを期待しています。

◆4月23日「春日部藤まつり」が開催され、昨年に続き「KED」(子供の町・エンジェルホームダンスクラブの略称)の子どもたちがダンスパフォーマンスを披露しました。帰省した子どもを除いて8名が、大勢の観客の前で堂々と踊りました。日頃の練習の成果があり見るたびに上達しているのがわかります。曲目が変わる際の入替わりもスムーズ。

次回の公演は6月に春日部市内公民館で開催される「ハーモニ

ーフェスタ」です。

◆3月に高校を卒業して運送会社に就職したY君。GWに来訪したので仕事の様子を聞きました。「まだ研修中です。引越し部門や倉庫部門など3カ月ずつ各部門を研修するみたいです。」と丁寧に説明してくれました。この日は出身寮で行うBBQに招待され、後輩たちにアイスを差し入れに持参しての来訪でした。Y君の笑顔にちょっと安心しました。

◆今年度は保育士・児童指導員を9名・心理士1名を新任職員として採用しました。そして、若い新施設長が誕生しました。未来を担う子どもたちを支える職員チームにふさわしく、次世代に向かって新たな試みが始まっています。新施設長のもと、委員会活動・分掌業務・諸行事担当・クラブ活動担当などを決める際に「希望制の導入」を取り入れました。職員自身の興味関心や趣味・特技を活かした施設運営・子どもたちへの支援を試行実践しています。「こまちアート」に加えて「音楽療法」も始まりそうです。何かが変わる!!

H28年12月～H29年5月に寄付金・寄付品を頂いた方々(順不同・敬称略)

朝日管財㈱	太平 内牧夢らんど	ニュースキングジャパン&セカンドハーベスト
アットホーム 佐藤 容	太平 かすかべ夢らんど	ネットトヨタ東埼玉(株)
㈱アバマンショップネットワーク	太平 杉戸夢らんど	ハッピーベア
荒木嗣則	太平 平方夢らんど	フィリップモリスジャパン(株)
アリックス(株)	太平プレイランド関宿店	㈱フォーバル CSR委員会
石井正史	夢ランドグループブランドセル募金	(株)プレナス
市川市行徳地区社会福祉協議会	財団法人 日本出版クラブ	細川 珠美
内堀医院	斉藤貞子	毎日新聞東京社会事業団
大森機械工業株式会社	三州製菓(株)	松葉鮎(握り寿司慰問)
長田 健	サンワコンボウ(株)	一八カネフジ(握り寿司慰問)
(有)沖田土木	科野日出子	彩賀(握り寿司慰問)
カープス武里店	シフォンケーキまま	㈱花岡善治商店(握り寿司慰問)
カープスマルエツノ割店	庄和商会 商業部会	関東食糧(株)(握り寿司慰問)
カープスミスターマックス越谷	白石和代	山口や(握り寿司慰問)
カープス吉川駅前店	スズケングループ労働組合連合会	遠州屋(握り寿司慰問)
柏市富勢地域ふるさと協議会	鈴木 美子	㈱丸山自動車
春日部遊技業組合・春日部地区遊技業防犯組合	スポーツウハートプロジェクト	水川さくみ
(株)コストコホールセールジャパン新三郷店	正木宏和	道永 優里
河島 丘征	全ヤオコー労働組合	(株)みのや
北田幸一	第一生命労働組合埼玉東部支部	山崎晴子
君塚歯科医院	(有)ダスカジャパン カウテモック	ヤマザキビスケット(株)
小越丈夫	田中文男	夢のかけ橋プロジェクト
腰越三恵子	(株)チュチュアソナ	ヨークマート労働組合
埼玉県県政サポーター	東京電力労働組合	楽園 南越谷店
埼玉県更生保護女性連盟	中島 晴子	楽天株式会社 CSR部
埼玉県書店商業組合	中村美雪	ロッテリア
埼玉ヤクルトグループ	日本鏡餅組合	その他匿名の方々

子どもたちのために、たくさんのご支援ありがとうございました

子供の町後援会からお知らせ

明治記念館でのチャリティーバザーですが、今年は、平成29年11月13日(月)に開催いたします。後援会では、皆様の会費や寄付金・バザーの収益等で子どもたちの自立支援や進学支援を行っています。施設を出てからの生活基盤を準備することは、とても大変な事です。少しでも、子どもたちの不安を取り除いてあげたいものです。また現在、3名の大学生等が後援会からの奨学金を受けながら、自分の夢に向けて頑張っています。後援会の役員・会員の皆様、職員の応援は、とても大きな支えになっています。

後援会へのお問い合わせ 事務局 TEL 048-746-0206

* 子供の町のホームページを開設しております。是非ご覧ください。

<http://kodomonomachi.jp/>